

第 39 回 建設業経理士検定試験

1 級 財務諸表 模範解答

弥生カレッジ CMC / 会計アカデミー＋GEMINI

2026 年 9 月 13 日作成

※本試験問題の写真をもとに作成した独自の模範解答です。公式解答公表前のため、最終的には公式解答・解答速報と照合してください。

※計算問題は問題資料の数値から算定し、途中計算が追える形で示しています。

第 1 問 資産評価（20 点）

設問	模範解答 / 採点キーワード
問 1 取得原価と時価基準 (250 字以内)	【模範解答】 取得原価とは、資産を取得するために支出した対価を基礎として資産を評価する額であり、取得後の価格変動による未実現損益は原則として認識しない。これに対して時価基準は、決算時点の市場価格等によって資産を評価し、取得原価との差額を損益または純資産に反映させる。取得原価は客観性・検証可能性に優れる反面、価格変動時には現在の価値を示しにくい。(162 字) 【採点キーワード】 取得時の支出額、客観性・検証可能性、価格変動の原則不反映（未実現利益排除）、時価は決算時点の価値を反映
問 2	【模範解答】

設問	模範解答 / 採点キーワード
割引現在価値 (250 字以内)	割引現在価値とは、将来受け取る、または支払うと見込まれるキャッシュ・フローを、その発生時期までの貨幣の時間価値やリスクを反映した適切な割引率を用いて、現在時点の価値に換算した金額である。将来キャッシュ・フローに基づいて資産または負債の実質的な価値を評価する方法である。(132 字) 【採点キーワード】 将来キャッシュ・フロー、割引率、貨幣の時間価値、現在時点の価値への換算

第2問 株主持分・純資産会計（14点）

空欄	解答用語	選択記号	補足・会計基準上の根拠
①	株主資本	サ	企業会計基準上の純資産の主要区分
②	資本剰余金	ア	資本金と資本剰余金で「払込資本」を構成
③	払込資本	セ	株主からの拠出資本（元本）
④	留保利益	ク	企業活動の成果として内部留保された利益
⑤	利益準備金	エ	会社法により積立てが義務付けられる法定準備金
⑥	繰越利益剰余金	タ	当期末処分利益に相当する未処分利益剰余金
⑦	任意積立金	コ	株主総会の決議等によって目的別に留保された積立金

第 3 問 正誤判定及び語句訂正（15 点）

問 題	判 定	誤りの箇 所・修正 後	記 号	正誤の根拠・解説
1	B	㉔明瞭性 → 秩序性	カ	正規の簿記の原則が帳簿記録に要請する三要件は「網羅性・検証可能性・秩序性」である。
2	B	㉑単一性の原則 → 明瞭性の原則	ソ	財務諸表の形式において目的適合性、概観性と詳細性の調和等を要請するのは「明瞭性の原則」である。
3	B	㉔5 年以内 → 3 年以内	フ	株式交付費を繰延資産に計上する場合、会社成立（交付）の時から 3 年以内に定額法で償却する。
4	A	修正なし （正しい）	—	自己株式の処分差額（売却益）は、その他資本剰余金（資本取引）として純資産の部に計上する。
5	A	修正なし （正しい）	—	社債発行費 600,000 円を定額法（償還期間 3 年＝36 ヶ月）で償却。当期（10/1～3/31 の 6 ヶ月）償却額は $600,000 \text{円} \div 3 \times (6 / 12) = 100,000 \text{円}$ 。

第 4 問 連結会計（資本連結・全面時価評価法）（15 点）

• 計算前提：

- S 社の簿価純資産：諸資産 99,500 千円 － 諸負債 58,000 千円 ＝ 41,500 千円
- S 社の時価純資産：諸資産時価 103,000 千円 － 諸負債時価 59,600 千円 ＝ 43,400 千円

設問	解答（千円）	算式・計算根拠
問 1 認識すべき評価差額	1,900	時価純資産 43,400 － 簿価純資産 41,500 ＝ 1,900 千円
問 2 非支配株主持分	10,850	時価純資産 43,400 千円 × 25% ＝ 10,850 千円
問 3 のれんの金額	1,200	取得原価 33,750 千円 － 親会社持分（43,400 × 75% ＝ 32,550）＝ 1,200 千円

第 5 問 精算表 (36 点)

1. 決算整理仕訳・算定根拠一覧

項目	整理仕訳 (借方 / 貸方)	計算根拠・処理のポイント
① 機械装置 (償却・除却・減損)	(未成工事支出金) 27,000 / (累計額) 27,000 (累計額) 36,000 / (機械装置) 90,000 (固定資産除却損) 54,000 (減損損失) 15,900 / (機械装置) 15,900	・ 当期償却：$\\$270,000 \div 10 = 27,000\\$ 千円 ・ 除却 1 台：取得 90,000、累計額 36,000(4 年分)控除後の簿価 54,000 を除却損に計上。 ・ 残り 2 台：簿価 108,000 > 割引前 CF102,000 のため減損。回収可能価額 92,100 まで切下げ (損失 15,900)。
② 投資有価証券 (償却原価・税効果)	(投資有価証券) 400 / (有価証券利息) 400 (繰延税金資産) 90 / (投資有価証券) 300	・ 償却原価：$\\$(80,000 - 78,800) \div 3 = 400\\$ 千円。 ・ 時価評価：$\\$78,900 - 79,200 = \triangle 300\\$ 千円。 ・ 税効果 30%：資産 90、純資産直入 $\triangle 210\\$。

項目	整理仕訳（借方 / 貸方）	計算根拠・処理のポイント
	（その他有価証券評価差額金）210	
③ 長期貸付金	（長期貸付金）1,260 ／（為替差益）1,260	・ $\\$200 \text{ 千円} \times 158.30 = 31,660 \text{ 千円}$。 ・ 簿価 30,400 千円との差額 1,260 千円を為替差益計上。
④ 退職給付引当金	（未成工事支出金） $\$87$ （販売費及び一般管理費）1,725 ／（退職給付引当金） 1,638	・ 現場予定計上済：$\\$920 \times 12 = 11,040 \text{ 千円}$。 ・ 実際発生 10,953 千円との差額 87 千円を未成工事支出金より減額。 ・ 販管費分 1,725 千円を追加計上。
⑤ 工事進行基準	（未成工事受入金） 30,400 （完成工事未収入金） 295,600	・ 進捗度：$\\$555,000 \div 750,000 = 74.0\%$ ・ 累計収益 $\\$940,000 \times 74\% = 695,600 \text{ 千円}$。前期末 369,600 控除後の当期高 326,000 千円。

項目	整理仕訳（借方 / 貸方）	計算根拠・処理のポイント
	／（完成工事高） 326,000 （完成工事原価） 291,000 ／（未成工事支出金） 291,000	・ 未成工事受入金 30,400 全額充当、残額を完成工事未収入金へ。
⑥ 完成工事補償引当金	（未成工事支出金） 2,547 ／（完成工事補償引当金） 2,547	・ 完成工事高合計 $\$762,200 \times 0.5\% = 3,811\$$ 千円。 ・ 既存 1,264 千円との差額 2,547 千円を繰入。 ・ 未成工事支出金： $\$261,540 + 27,000 - 87 + 2,547 = 291,000\$$ となり当期原価と完全一致。
⑦ 貸倒引当金	（貸倒引当金繰入額） 7,261 ／（貸倒引当金） 7,261	・ 電債： $\$52,600 \times 3\% = 1,578\$$ 千円。 ・ 完工未収金： $\$460,200 \times 2\% = 9,204\$$ 千円。

項目	整理仕訳（借方 / 貸方）	計算根拠・処理のポイント
		・ 要設定額 $10,782 - \text{期首 } 3,521 = 7,261$ 千円繰入。
⑧ 税効果・法人税等	（繰延税金資産） 1,050 ／（法人税等調整額） 1,050 （法人税等） 4,788 ／（仮払法人税） 3,000 ／（未払法人税等） 1,788	・ 貸倒引当金損金不算入 $\\$3,500 \times 30\% = 1,050\\$ 千円。 ・ 税引前当期純利益 12,462 千円。 ・ 課税所得 $\\$12,462 + 3,500 = 15,962\\$ 千円。 ・ 法人税等：$\\$15,962 \times 30\% = 4,788\\$ 千円（仮払控除後 1,788 千円）。
⑨ 当期純利益	（損益計算書差額振替） 当期純利益：8,724 千円	・ 税引前利益 12,462 － 法人税等 4,788 ＋ 法人税等調整額 1,050 = 8,724 千円。

弥生カレッジ：会計アカデミー 建設業経理士 1 級 合格講座

キャンペーン実施中

財務諸表・原価計算・財務分析の 3 科目を、基本講義＋過去問ゼミで効率よく学習。
理論添削、YouTube ライブ講座、月 2 回の無料質問会、試験直前オンライン合宿など、合格までの学習をサポートします。

講座	現在の掲載価格（税込）
3 セット合格パック	38,500 円
2 セット合格パック	28,600 円
1 科目合格パック	18,700 円

詳しい講座内容・最新のキャンペーン情報はこちら

<https://kaikai-academy.com/kensetsutop-1/>



スマートフォンのカメラで QR コードを読み取ってください。

会計アカデミー

※価格・キャンペーン内容は変更される場合があります。最新情報は上記 Web サイト
でご確認ください。

建設業経理士1級・合格プログラム

① 基本講義 (オリジナルレジュメ)	財務諸表24回 原価計算16回 財務分析17回	各平均 45分
② 過去問ゼミ	TAC出版「合格するための過去問問題集」各10～19回も20回以降追加収録 27～36回の難問難点を追加!	8時間+
③ 理論対策 (財務諸表6時間・原価計算3時間)	概説書の記述問題をワンポイント解説	
④ 添削	オンライン添削会	試験の戦術も
⑤ オンライン合宿		
⑥ 財務分析3問・4問強化塾		
⑦ 意思決定強化塾(過去問研究)		
⑧ 概説書解きまくり講座		
⑨ 概説書索引&練習問題 徹底解説		
⑩ スマホ学習ツール (スマホではじめる建設業経理士1級)		
⑪ ライブ質問会 (月2回)		



建設業経理士1級 3セット 合格バック

35,000円 (税込: 38,500円)

28,000円 (税込: 30,800円)



建設業経理士1級 2セット 合格バック

26,000円 (税込: 28,600円)

20,800円 (税込: 22,880円)



建設業経理士1級 (財務諸表) 合格バック

18,000円 (税込: 19,800円)

14,400円 (税込: 15,840円)



建設業経理士1級 (原価計算) 合格バック

18,000円 (税込: 19,800円)

14,400円 (税込: 15,840円)



建設業経理士1級 (財務分析) 合格バック

17,000円 (税込: 18,700円)

13,600円 (税込: 14,960円)

オンライン添削会付きで
この価格!!!



32,000円 (税込: 35,200円)

23,000円 (税込: 25,300円)

15,000円 (税込: 16,500円)

15,000円 (税込: 16,500円)

14,000円 (税込: 15,400円)

9月末までキャンペーン①価格

10月末までキャンペーン②価格

安くても内容充実